

令和7年度(2025年度)第13回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和8年(2026年)2月16日(月) 午前10時～11時40分

場 所：本部棟2階大会議室及びオンライン

出席者：○委員

学長	堤 裕昭	
副学長	鈴木 元	
事務局長	梅川 日出樹	
文学部長	村尾 治彦	
環境共生学部長	白土 英樹	
総合管理学部長	宮園 博光	
共通教育センター長	山田 俊	
地域・研究連携センター長	石橋 康弘	(リモート参加)
デジタルイノベーション推進センター長	飯村 伊智郎	(リモート参加)
熊本大学理事	宮尾 千加子	
株式会社エフエム熊本相談役	荒木 正博	
熊本県公立高等学校校長会長	田中 篤	

○監事

弁護士	本田 悟士	(リモート参加)
公認会計士・税理士	吉川 榮一	(リモート参加)

○委員以外の出席

文学研究科長	米谷 隆史	(リモート参加)
環境共生学研究科長	柴田 佑	(リモート参加)
アドミニストレーション研究科長	澤田 道夫	(リモート参加)

○事務局

柳田総務課長、木山企画調整室長、堀口教務入試課長、山村入試班長、企画調整室金子主幹、藤本教務入試課教務班参事、岡村教務入試課教務班主事

○欠席委員

国際教育交流センター長 モロー ジェフリー スチュワート

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 令和8年度(2025年度)入学者選抜における合格者の決定について

1) 私費外国人留学生選抜

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、以下のとおり説明があった。

・出願がなかったため試験は実施せず。

→ 審議はなく報告のみ。

2) 大学院文学研究科(春季入学・春季募集)

事務局教務入試課から、資料 1-2 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・日本語日本文学専攻の博士前期課程には、一般選抜に 1 名、社会人特別選抜に 1 名の合計 2 名志願があった。
- ・また、博士後期課程には 1 名の志願があり、いずれも 2 月 7 日に試験を実施した。
- ・これらに対し、研究科委員会で可否の判定を行っており、詳細は研究科長から御説明するので、御審議をお願いしたい。

文学研究科長から、資料 1-3~5 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・日本語日本文学専攻の博士前期課程は 2 名とも、6 割の基準を満たさず 2 名を不合格としたい。また、博士後期課程は、合格基準を満たしており、1 名を合格としたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

3) 大学院環境共生学研究科（春季入学・春季募集）

事務局教務入試課から、資料 1-6 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・博士前期課程については、一般選抜に 2 名、社会人特別選抜に 1 名、外国人留学生特別選抜に 1 名、外国人留学生特別選抜（国費）に 1 名、合計 5 名志願があった。また、博士後期課程については、一般選抜に 1 名、社会人特別選抜に 1 名、外国人留学生特別選抜に 2 名、合計 4 名の出願があり、2 月 7 日に博士前期課程の、2 月 11 日に博士後期課程の試験を実施した。研究科委員会で可否の判定を行っており、結果を研究科長から御説明するので御審議をお願いしたい。

環境共生学研究科長から、資料 1-7~13 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・博士前期課程は、全員受験した結果、いずれの方も基準を満たしているため合格としたい。
- ・博士後期課程は、出願者全員が受験した結果、いずれの方も基準を満たしているため合格としたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

② 学部長、共通教育センター長、研究科長、図書館長、地域・研究連携センター長、デジタルイノベーション推進センター長、国際教育交流センター長及び学科長・専攻長の選考並びにキャリアセンター長・保健センター長の指名について

総務課長より資料 2 に基づいて、令和 9 年度の標記大学の役職の教員について、学部長名での案の提示があった。これらについて、審議をお願いするもの。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

③ 学部アセスメントプラン指標の見直しについて

教務入試課から、資料 3 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・アセスメントプランは大学基準協会の認証評価におけるポイントの一つであり、大学生及び大学の各種データ指標に基づき、教育改善を図るにあたって大切に重要で

あると思われるデータを示したものである。

- ・今年度の教務委員会において、見直すことが適当だと思われる指標について議論を重ねて審議決定された別添案のとおり、お示ししている。これらについて、本会議においても審議いただきたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

④ 熊本県立大学特任准教授の任用について

教務入試課から、資料4に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・現在本学の教職課程の講義は多くを非常勤講師が担っており、教員の高齢化等も進んでいるため、来年度全教科必須の科目で複数の教員から辞退の申し出があり、課程自体の存続の危機にある。
- ・これを打開するため、前回、5年期限で特任教授を任用できる制度の創設をご審議・承認頂いたところであるが、今回はこの制度に適合する候補者について、別添資料により就任の可否をご審議をお願いするもの。
- ・候補者は本学で家庭科の非常勤講師として現在勤務いただいているが、教育歴は非常に長く、また、高校教諭の経験もあり、博士号もお持ちで、全教科必須科目の対応や教育実習指導も担っていただける方である。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑤ 令和8年度非常勤講師の採用について

教務入試課から、資料5に基づき、令和8年度採用を予定している26名、46科目について、別添の学科、センター、研究科ごとの講師一覧を添えて、採用の可否についての審議依頼があった。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 報告事項

① 令和7年度内部質保証委員会の審議結果について

教務入試課から、資料6に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・本学における教育の内部質保証に関する全学的な責任を負う組織として、規程に基づき定例的に委員会を開催したので、その結果を報告する。
- ・チェックリストに基づき点検・検討を行ったが、今回、助言、改善事項はなく、チェックリストも承認された。また、その他として、令和7年2月の中教審における認証評価制度の見直し概要の説明や、前期授業評価アンケートの概略説明、学修成果の可視化に向けたDP指標化の進捗状況の説明も併せて行った。

② 半導体学部（仮称）の設置及び認可申請について

企画調整室から、資料7に基づき、半導体学部（仮称）の設置及び認可申請について、現時点における申請の概要及び12月から実施しているアンケートの途中経過、また、今後の認可申請に向けたスケジュール等に関して説明があった。

4 その他

次回の開催日程

令和7年度(2025年度)第14回 3月5日(月)午前10時～ 本部棟大会議室

5 閉会